

改築

着工

現在地の札幌市豊平区中の島1条2丁目2の15で建て替えるRC造、4階、延べ2193平方

の規模を想定。南波建設設計で設計を進めている。2015年10月ごろの完成を目指す。

日本グランデ(札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長)は、「炭パワークリーンシステム」のライセンス販売を本格化する。分譲・賃貸マンションやRC造住宅向けのクリーンで安全な空気環境をつくるシステムで、4月1日付でC

PC(CARBON POWER CLEAN)事業部門を新設。道内をはじめ、本州、九州など全国のデベロッパーに提案していく。

同社は、空気の浄化・湿気対策などに効果がある自然素材の炭に着目し、炭パワークリーンシステムを開発。健康への影響が懸念され、呼吸器や循環器系への有害性が疑われているPM2.5への対応をはじめ、安全で快適な住空間を実現した。同システムは2013年4月に特許を取得している。

08年からは、自社物件に「室内ECC環境」が同システムのコンセプト。室内の汚れた空気を強制的に機械換気し、住戸内への外気導入は給気浄化フィル

炭パワークリーンシステム ライセンス販売本格化

日本グランデ

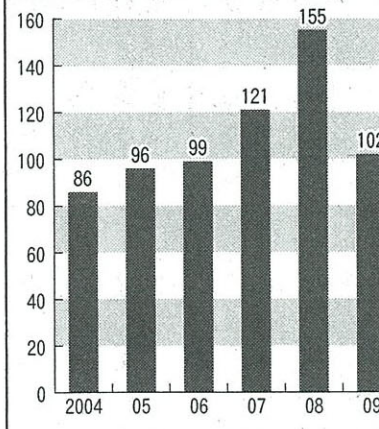
炭パワークリーンシステム

カフトシステムの負債が加わったことで前年度を大きく上回り5000億円を超えたが、この分を除くと件数同様最少規模となる。同支店では「道内建設業の倒産件数は13年度で底打ちしたとみられ、今後は増加に転じる可能性が高い」と分析している。

帝国データバンク札幌

14年度以

過去10年間の建設業



を中心としたリソース見直しや、資材価格の高騰、賃金上昇に伴う労務負担の増加が各企業に重くのしかかっているためだ。同支店は「先行きを見通せず廃業するケースも依然多く見られる。今後の建設業の動向には注視する必要がある」とコメントしている。

セントラルビルサービス子会社

リース・レンタル業のつうけんアクト(本社・札幌)は23日、セントラルビルサービス(同・釧路市)の全株式を取得し子会社化したと発表している。

セントラルビルサービスは1973年設立。釧路市と札幌市を拠点に

然炭の層で浄化されたクリーンな空気を各部屋に送り込む仕組み。居室全体を換気するには、居室内で発生している汚れた空気を排出しなければならぬ。同社では、排気と給気の両方を機械的に制御できる第1種換気方式を導入している。

炭は白竹炭を使用。竹は成長が早く、環境負荷の軽減などの利点を持つ。交換は不要で半永久的に効果が持続するという。24時間熱交換型セン

ターによって、花粉やほこりなどを取り除いた新鮮な空気を室温に近づけて取り込み、天井内の炭チャンバーを通して、天

トラル換気システムを組み合わせることで、省エネ性能を高め、冷暖房費の大幅な節約が可能となる。

景気、持ち直し続く

道財務局 4月経済情勢報告

北海道財務局は23日、4月の管内経済情勢報告を発表し、道内景気を消費増税引き上げに伴う駆け込み需要の反動が早期に緩和され、景気が再び持ち直しつつあることが明らかになった。4月の消費増税前月の増加で消費増税前の駆け込み需要の反動が早期に緩和され、景気が再び持ち直しつつあることが明らかになった。

決算

14年3月(カッコン内) 経済産業省 14年度 域経済産業

経産省

「持ち直し」それぞれ表裏見え置いた。